

2017 年度事業報告書

公益財団法人広島YMCA



2017年度 公益財団法人広島YMCA活動報告

5月3日(水)	フラワーフェスティバル折鶴ブース実施	折鶴みこし出場(広島女学院大学協力)
5月4日(木)	フラワーフェスティバル折鶴ブース実施	
5月5日(金)	フラワーフェスティバル折鶴ブース実施	きんさいよさこいパレード出場 原爆の子の像建立記念式典(広島女学院大学協力)
5月16日(火)	第1回GCC運営委員会実施	
5月26日(金)	生協市民6団体 平和キックオフ集会	(広島県生活協同組合連盟)
6月4日(日)	広島YMCA会員大会	14:00~15:15 礼拝 15:30~17:00 交流会
6月8日(木)	核兵器禁止条約のための「ヒバクシャ国際署名」広島集会	日本被団協協力
6月15日(木)	核兵器禁止条約のためのヒロシマ共同行動3	(NGO協力)
7月10日(月)	ドイツ・ハノーバー交流「Global Youth Friendship」受入	
→7月31日(月)		
7月24日(月)	ハワイ・ホノルル交流「Let's get together」派遣	
→8月8日(火)	(ドイツ・ホノルル交流は外語学院が担当部門)	
8月4日(金)	ユースピースセミナー①	平和祈念特別礼拝 市民平和行進(県生協連協力)
8月5日(土)	ユースピースセミナー②	世界平和宗教者会議(協力) I PRAY(協力)
8月6日(日)	ユースピースセミナー③	平和の灯ろう流し
8月7日(月)	ユースピースセミナー④	市内観光 フェアウエルパーティー
8月19日(土)	I PRAY(奈良YMCA公演)	協力)
8月23日(水)	熊本地震ボランティアワークキャンプ実施	(阿蘇YMCAキャンプ場)
→8月27日(日)		
9月18日(月・祝)	福山YMCAチャリティーバザー	
9月24日(日)	東広島YMCAチャリティーバザー	
9月30日(土)	YMCA米子医療福祉専門学校学園祭	
10月1日(日)	第62回広島YMCAチャリティーバザー	
10月7日(土)	全国YMCAリーダー研修会(日本YMCA同盟主催/広島YMCA主管)	
→10月9日(月)		
10月15日(日)	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 学校祭	
10月19日(木)	2017市民平和フォーラム	県民文化センター(県生協連協力)
10月25日(水)	創立記念特別礼拝(第2回全体職員研修)	
11月1日(水)	2017年度国際協力募金キャンペーン実施(全国の流れに合わせて11月から)	
~2018年2月末		
11月10日(金)	世界YMCA・YWCA合同祈祷週・広島集会2017	18:30~
11月21日(火)	第2回GCC運営委員会実施	
11月23日(木)	インターナショナル・チャリティーラン2017	
11月26日(月)	ノーベル平和賞コンサート・ICANビデオ撮影	(協力)
12月3日(日)	第5回広島YMCAファミリークリスマス	15:00~17:00
12月9日(土)	核兵器禁止条約のためのヒロシマ共同行動3	(NGO協力)
12月10日(日)	核兵器禁止条約のためのヒロシマ共同行動4	(NGO協力)
12月9日-10日(日)	中央ランチ・街頭募金活動	
12月1週~3週	各ランチ街頭募金実施	
12月16日(土)	日中韓YMCA平和フォーラム(韓国 光州/日本YMCA同盟主催)	
→20日(日)	広島から4名の参加者	
2月28日(水)	ピンクシャツデー	
3月11日(日)	3.11東日本大震災追悼の集い	広島集会(NPO協力)
3月12日(月)	第3回GCC運営委員会実施	
3月14日(水)	フィリピンワークキャンプ2018実施	
→3月29日(木)		

2017年度事業の概況とご報告

2017年度も公益財団法人広島YMCAの使命（目的）に立脚し、子どもから大人まで、幅広い世代の人々がボランティアによる地域貢献、奉仕活動、国際協力・交流活動を促進するとともに、当該活動の実践を通して心身の健全な成長と奉仕の精神を育み、人々が共に生きる平和な社会を築くことに、全力を挙げて取り組んだ。

特に2017年度は、7月に国連において制定された核兵器禁止条約にむけて、広島ヒバクシャ団体や平和NGOと協力した活動を中心に、多くの平和活動を展開した。特に平和を基軸にした国際交流・国際支援・平和教育活動プログラムとして、国際青少年平和セミナーでは、パートナーシップYMCAだけではなく、国々や国内のYMCAより、多くの若者が参加するようになり、過去最多の88名の参加があった。

また市内各NPO団体や広島県被団協との協力により、核兵器禁止条約制定に向けた共同行動やヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会の立ち上げなどの実施を行った。また、継続の課題として、2016年4月に発災した熊本地震の復興支援活動として、熊本ボランティアワークキャンプ、フィリピン台風復興支援のフィリピンワークキャンプを実施した。



1) 平和教育活動

1) 平和教育活動・平和活動

広島の被爆体験を次世代に継承し、世界の紛争地域や被災地域の状況や支援の必要性を講座やセミナーを通して学ぶ事業を行った。

①第39回国際青少年平和セミナーの実施

第39回国際青少年平和セミナーを8月4日～8日の間広島において実施。福島、栃木、東京、横浜、京都、富山、広島、熊本、インド、台湾、韓国、シンガポール等の12の国と地域から高校生・大学生・専門学校生など約88名が参加し、運営はボランティアリーダーによって行われた。また、福島原発事故によって帰還困難区域となった福島県の大熊町から大学生の参加者を招へいた。被爆体験講座においては、広島県原爆被害者団体協議会より副理事長の箕牧智之氏を講師に迎え、核兵器被害の実相を伝えることができた。



②第13回平和の灯ろう流しの実施

8月6日に広島YMCAとしては13回目の「灯ろう流し」を、地域の子供達や家族・YMCA国際青少年平和セミナーの参加者、運営ボランティア等約300名により実施。アルメニアやパキスタンなど海外から寄せられた平和のメッセージ1500個を灯ろうにし、平和の願いと共に参加者の手で丁寧に元安川に流された。また、アルメニア大使・ポゴシャン氏より直接、平和のとうろうが届けられ、会場にてアルメニアと広島の友好関係についてスピーチいただいた。



③平和のための国際NGO・地域NPOとの協力プログラム

◆国際NGOとの協力

- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」「ピースボート」などとの協力により、核兵器禁止条約制定の後押しをするための、共同行動（集会やイベント）を展開した。
- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」のノーベル賞受賞の際、フラワーフェスティバルで市民の皆さんに追ってもらった折鶴をオスロに届ける活動を行った。
- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」事務局長ベアトリス・フィン氏が1月15日に広島に来訪。その際の市民との意見交換会の事務局および記録担当として帯同を行い、SNS等を通して広く、県民の皆様に核兵器廃絶にむけての啓蒙活動を行った。

◆地域NPOとの協力

地域のNPOと協力して、戦争や核兵器のない平和な世界を目指す「ヒバクシャ国際署名」の署名活動を展開した。また、「ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会」の事務局として、推進連絡会の立ち上げ、ホームページ作成（電子署名の策定を含む）、広報業務など、事務局としての役割を担った。



2) 地域奉仕活動

YMCAの会員やボランティア・リーダーによる障がい者等の支援活動や、チャリティー活動により地域の福祉・奉仕プログラムを行った。広島県内の各種行事に会員・ボランティアと共に参加し、地域社会への貢献を行った。東日本大震災や熊本地震等災害支援の必要性を広島の地域に広め、災害支援・復興のための支援活動のコーディネートやボランティア派遣を行った。

①インターナショナル・チャリティーラン

個人や企業を対象に、障がいのある子ども達の支援のためのランニングイベントを開催し、参加費・協賛費を障がいのある子ども達の支援活動に充当した。

日 程：11月23日

場 所：広島中央公園 参加者：約450名

運営ボランティア：約50名 協賛：34団体



②チャリティーバザー

広島・福山・東広島で、ボランティアによるチャリティーバザーを実施し益金を障がい者支援や東日本大震災・熊本地震復興支援等に活用した。また、2017年度バザーでは、全国YMCAのブランディング披露の初日としてイベントが開催された。

日 程：広島=10月1日 福山=9月18日 東広島=9月24日

③広島県内の各種行事への参加・協力

YMCA会員やボランティアメンバー・リーダーで「フラワーフェスティバル」・「原爆の子の像建立記念式典」・「戦争も核兵器もない平和な世界を市民の集い」・「市民平和行進」等の行事に参加し、地域の平和活動や国際活動に協力した。フラワーフェスティバルでは「折鶴みこし」「よさこい」に加え、平和発信ブースを設け平和の折鶴を市民に呼びかけた。



④震災等支援活動（東日本・熊本・九州北部豪雨災害その他）

ア) 広島県民に災害の状況をお知らせし、支援の必要性を訴え、募金活動を継続的に行った。

イ) 九州北部豪雨災害において広島県民から寄せられた募金40万円を、日本YMCA同盟や現地YMCA(福岡)を通じて、被災者支援のために活用した。

ウ) 熊本地震復興支援活動として、夏休みの時期を利用し、中国地方を中心とした大学・専門学校生で「熊本地震ボランティアワークキャンプ」を企画し、8/23～8/27の期間、熊本阿蘇YMCAキャンプ場を中心に実施した。

エ) 福島支援プログラムの実施として福島第一原発事故・帰還困難区域(大熊町)出身の大学生を国際青少年平和セミナーに招へいた。

日程：8月3日～8日 人数：3名招へい

オ) NPO団体と連携し震災復興支援のための追悼の集いを広島で行った。

「3.11東日本大震災を忘れない追悼の集い広島集会」

日程：3月11日 場所：平和記念公園・元安川親水テラス 参加者：約500名 運営ボランティア：約120名



⑤YMCAクリスマス・チャリティーコンサート

NPO団体や広島女学院大学と連携し、クリスマスチャリティーコンサートを行い参加者にチャリティー募金を呼びかけた。

日程・12月3日 場所：広島YMCA 参加者：約140名



⑥環境・リサイクル活動の実施

エコキャップ・リングプル・使用済み切手のリサイクル活動等を行った。

⑦いじめに反対するピンクシャツデーの実施

2月28日、ピンクシャツやピンクの小物を身につけて「いじめ反対」のアピールを行った。

2017年度は150件の写真・いじめ反対のメッセージが届くようになり活動は拡大した。



3) 国際交流活動

YMCAの持つ国際的なネットワークを活用し、国際交流・国際理解を促進し、合わせて海外からの来広者に対し被爆地広島の体験を広く伝えた。

①第57回 Let's Get Together ユースのホノルル派遣

7月24日～8月8日の2週間の期間で行われ、11名のユース・1名のスタッフをハワイ・ホノルルに派遣した。平和学習・異文化交流・野外活動などを通して、ホノルルYMCAの10代のユースとキャンプやホームステイを通して交流を図った。



②第26回ハノーバー国際交流プログラム

ハノーバーからのユース受け入れ

7月10日～7月31日の間、ドイツのハノーバーからメンバー6名・スタッフ1名の受け入れを行った。広島において平和学習・異文化交流・野外活動・ホームステイなどを通して、広島の10代のユースと国際交流を行った。



③日中韓YMCA平和フォーラム ユースメンバー派遣

12月16日～12月20日の間、日中韓YMCA平和フォーラム（韓国・光州開催）にユーススタッフ・メンバーを計4名を派遣した。

広島YMCAの活動で集めた折鶴をレイにした首飾りをユースがつけ、平和の鐘の点鐘を行うプログラムを実施した。

これをきっかけに日中韓ユース平和委員会が結成され、2018年に平和アクションプランを行うことが確定された。



4) 国際協力活動

世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴え、日本YMCA同盟や世界のYMCAのネットワークを通じて支援を行った。

①国際協力募金キャンペーン

世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴えキャンペーンを行い、広島市・福山市・東広島市等でボランティアによる街頭募金を行った。広島県民から寄せられた善意は、日本YMCA同盟等を通じて、難民支援・被災地支援に活用される。

2017年度国際協力募金額：1,829,760円
募金ボランティア：約400名



②広島・フィリピンワークキャンプ

台風30号の被害にあったセブ島を広島の青少年・学生が訪問し、現地の青少年と相互理解を深めながらボランティアとしてワーク活動を行った。参加者は、セブYMCAを中心にストリートチルドレンへの炊き出しボランティア・被災地小学校の修復・建設作業などを行なった。

日程：3月14日～29日 参加者：6名
引率ボランティア：2名



5) ボランティア・リーダー育成活動

本法人の会員や市民にボランティアの機会を提供し、様々な活動を通してボランティアの育成を図った。また、日本YMCA同盟等が行うリーダー育成事業・ボランティア育成事業に参加する機会を設け支援を行った。特に今年度全国YMCAリーダー研修会においては広島YMCAが主管となり運営を行った。

◆西日本YMCAリーダー研修会

日程：5月3日～5日 熊本YMCA 阿蘇キャンプ場

◆全国YMCAリーダー研修会

日程：10月7日～9日
場所：広島 川森文化交流センター
主管：広島YMCA

◆地球市民育成プロジェクト

日程：8月29日～9月4日 在韩国YMCA 1名派遣



公益財団法人広島YMCA
理事長 上久保 昭二 様

監 査 報 告 書

私は、公益財団法人広島YMCAの2017年4月1日から2018年3月31日までの理事の職務執行状況並びに会計処理・財産状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を確認し、理事及び職員からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

2018年5月16日

公益財団法人広島YMCA

監 事

榎 並 毅

2018年度 公益財団法人広島YMCA
国際コミュニティーセンターの方針と重点項目

総主事 殿納 隆義

【方針】

創立80周年にあたり、今一度、広島YMCAの存在意義を確認し、創立100周年に向けた広島YMCAのあるべき姿をともに考え、実行に移す1年とする。

【重点項目】

1. これからの社会を造るユースの育成に注力する。

- ①各ブランチでユースリーダーが育まれる仕掛け、仕組みを構築する。
- ②各部門のユース会員に対し、GCCプログラムの紹介、勧誘を行い、ユースリーダー会への道筋を作る。
- ③各部門のユース会員に対して、入会時にGCCプログラムの紹介リーフレット、リーダー会の紹介リーフレットを合わせて配布する。
- ④ユースリーダー獲得のため、待つのではなく仕掛ける仕組みへと移行する。
 - 広島市内の大学に対して、入学オリエンテーション時、ゼミナール説明時にGCCスタッフが伺い、広島YMCAの国際協力・国際理解・平和プログラムの紹介とリーダー会の紹介を行い、継続して学生リーダーを迎え入れる仕組みへと移行する。

2. NPOと連携し、社会貢献活動を再開する。

- ①現在活動しているNPOと連携し、若者の貧困問題や貧困家庭・孤食の子どもに食事を提供する活動など、今まで遠ざかっていた社会問題に寄り添う活動を再開する。

3. 海外パートナーYMCAとの良好な関係を維持し、平和都市広島にあるYMCAとしての役割を果たす。

- ①海外16のパートナーYMCAとの関係を維持しつつ、重点YMCAとの関係強化を図る。
 - 台南YMCA、韓国大邱（テグ）YMCA、シンガポールYMCAなど近隣諸国のYMCAとのスタッフ交流、スタッフ研修の可能性を検討する。
 - 休止しているドイツ・ハノーバーYMCA交流プログラム（広島からハノーバーへの使節団派遣）の再開の是非を早急に判断する。
- ②歴史ある交流プログラム、平和プログラムの内容を深化させるとともに、東北アジアでの平和プログラムの実施を検討する。
 - 2017年12月の日中韓平和フォーラム（韓国光州）で検討された、各国ユースメンバーによる連携プログラムの支援を行う。（5月5日の原爆の子の像建立記念式展・灯ろう流し等に合わせた企画を実施する）
 - 韓国人被爆者が暮す韓国南部の小さな町・陝川（ハプチョン）との平和プログラムの可能性を検討する。

4. 各部門スタッフがGCC活動（国内・海外）に関わる事を研修化し、YMCAの事業と運動の両面について理解し、関わる事の重要性を学ぶ。

- ①2018年度より、これまでの経験にこだわらず、スタッフ研修に位置づけたプログラム担当者の人選を行う。

以上の方針に基づき、組織体制・プログラム計画を立案し推進するものとする。

2018年 国際コミュニティーセンター活動予定

2018年

5/3 (木) ~ 5 (土)	フラワーフェスティバル折鶴ブース
5/3 (木) ~ 5 (土)	西日本Y M C Aリーダー研修会 (福岡)
5/5 (土)	原爆の子の像建立記念式典 (広島女学院大学協力)
6/3 (日)	広島Y M C A会員大会
7/24 (火) ~ 8/10 (金)	Let' s Get Together (広島・ホノルル国際交流)
8/4 (土)	市民平和行進 (広島県生活協同組合協力)
8/5 (日)	宗教者平和協議会平和活動 (支援)
8/4 (土) ~ 8 (水)	広島Y M C A国際青少年平和セミナー (ピースセミナー) 東日本大震災復興支援 福島ユースを広島に招聘
8/6 (月)	平和のとうろう流し
8/17 (金) ~ 20 (月)	フレンドシップキャンプ①(仮称)
8/21 (火) ~ 24 (金)	フレンドシップキャンプ②(仮称)
8月下旬 (調整中)	熊本地震復興支援ボランティアワークキャンプ
8/28 (火) ~ 9/1 (土)	地球市民育成プロジェクト (日本Y M C A同盟)
9/30 (日)	広島Y M C Aチャリティーバザー
10/6 (土) ~ 8 (月)	全国Y M C Aリーダー研修会 (仙台)
10/25 (木)	広島Y M C A創立 80 周年記念日 (全体行事)
11/9 (金)	世界Y M C A/Y W C A合同祈祷週・集会 (呉Y W C A)
11/23 (金)	広島Y M C Aインターナショナル・チャリティーラン
11/23 (金) ~ 25 (日)	日本Y M C A大会 ユースリーダー派遣
12/2 (日)	広島Y M C Aクリスマス
12/9 (日)	広島Y M C A国際協力募金 街頭募金活動
2019年	
2/27 (水)	Y M C Aピンクシャツデー (全国協働)
3/11 (月)	3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い (N P O協力)
3/13 (水) ~ 28 (木)	フィリピンボランティアワークキャンプ予定
3/14 (木)	リーダー卒業式





みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人 広島YMCA

〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 Tel 082-228-1151 Fax 082-221-0366